

子育て情報 きたはら

田無北原保育園
平成26年5月発行

桜の花びらもすっかり新緑に衣替えし、爽やかな季節がやってきました。新年度になり1ヶ月が経ち、環境が変わった皆様も少しずつ新しい生活に慣れてきたころではないでしょうか。



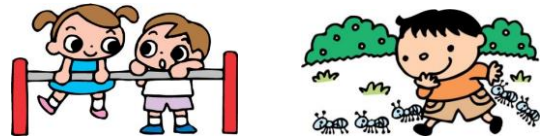
子ども達の適応能力は素晴らしく、大きく環境が変わったにも関わらず、しっかりと確実に新しい生活に慣れてきています。ゴールデンウィークを挟んで少し足踏みしている子もいますが、好奇心旺盛な子ども達ですから、これからもどんどん新しい事に挑戦していってくれるでしょう。

これからの季節、外で過ごすのが気持ち良い季節となります。田無北原保育園では園庭解放もしており、園庭遊具もお使いいただけますので、ご近所の方はぜひ遊びに来てくださいね。

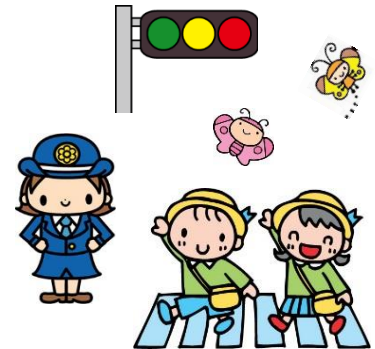
(園庭解放時間：10時～12時)

<4月～5月の活動

4月25日…《交通安全指導》



GWのお休み前に、田無警察のおまわりさんにお越しいただき、子ども達に交通安全指導をしていただきました。横断歩道を渡るときの注意事項や、「止まれ」の標識があるところでは必ず止まることなどを優しくお話しいただいた後、園庭に設置された信号機を使って交差点を渡る練習をしました。「右を見て、左を見て、もう1度右を見て、手を挙げて渡りましょう」と、みんな楽しく上手に練習できましたよ。



5月8日…《どうぶつ村》

かわいい動物さんがたくさん遊びにきてくれて、園庭が賑やかな動物園になりました。ヤギさんヒツジさん、アヒルさんをはじめ、ウサギさんにモルモットさん、ヒヨコさんなどなど。子ども達は、やさしく頭をなでたり、抱っこしたりしました。また、手で野菜を食べさせてあげたり、綱でお散歩したりすることもできて、とても楽しく遊ぶことができました。



子育てワンポイント！



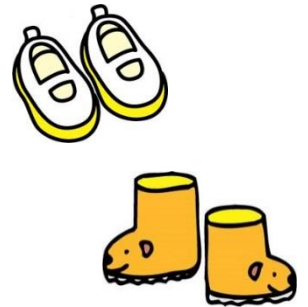
子どもの靴は、成長に合わせて足の発達を助けてくれるものを選ぶことが大切です。半年に1度はサイズの点検をしてあげましょう。

子どもの足の骨は、まだ大人のようにしっかりしていません。また、子どもは足に合わない靴を履いていてもはっきりと苦痛を訴えることができません。大人がしっかりと子どもの足と向き合い、正しい靴を履かせてあげることが大切です。

子どもの足の骨は軟骨の部分が多く、靴の影響がとても大きくなります。子ども時代の靴が扁平足や外反母趾の原因の1つになると言う専門家もいます。これから足がつくられていく時期ですから、子どもの足の発達を妨げないもの、できれば足の発達を積極的に助けるものが望ましいと言えます。

～具体的な靴選びのポイント～

- ①靴の底は、つま先から3分の1程度がしなやかに90度曲がる
- ②靴底は、厚めで適度なクッションがある
- ③つま先は、子どもの指が中で動かせる
- ④かかとは、立ち上がりの部分が丈夫で、かかとをしっかり支えられる



靴は服とは違って「お下がり」することはやめましょう。どうしてもお下がりの靴を履かせるときは、前の子の歩き方の癖で靴が変形していないか良くチェックしてください。子どもの成長に合わせて、半年に1度は靴が小さくなっていないか大人がしっかりと点検してあげましょう。



子育て情報「きたはら」は、子ども達の健康と心豊かな成長の支援を目的に、田無北原保育園が発行している地域情報紙です。ホームページでもご覧いただけます。

田無北原保育園では、地域の方々に行事の開放をしています。

育児相談、体験、園庭開放も随時行っておりますのでお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ Tel : 042-467-8080

URL : <http://kitahara-ns.org/>

田無北原保育園 検索

Facebook もご覧ください。



==== 社会福祉法人 大誠会 ====
田無北原保育園 (私立認可園)
田無保育園 (公立園運営受託)